



アマタ シニアコンサルタント

### 猪又 陽一

1994年早稲田大学理工学部卒業後、同年ベネッセコーポレーション入社。その後、外資系ネットベンチャーやリクルートエージェントなどで新規事業を軌道に乗せた後、2009年より現職。担当分野は環境・CSR・サステナビリティ分野における戦略・実行、コミュニケーション、教育。主な実績は、環境省「優良さんばいナビ」、企業ウェブグランプリ受賞サイト「おしえて!アマタさん」、「CSR JAPAN」などをプロデュース。主な外部委員として、東京商工会議所「eco検定アワード」審査委員など。主な著書・連載記事に「CSRデジタルコミュニケーション入門」(共著)、環境新聞「CSRの光と影」、企業の第三者意見など。

昨年度の第三者意見では、①「安全・安心の徹底」「環境重視」「顧客志向の追求」「コンプライアンスの徹底」のグループ経営方針の再確認、②中長期的な視点でのSDGsの推進を提言いたしました。今年度の報告書を拝見して、最も注目したのは、「ESG・SDGsパート」(P24-P26)の部分でした。

昨年、「SDGs経営推進部」が新設されましたが、おそらく、社内でのSDGsの認知度も低かったのではないのでしょうか。今回、社内浸透と対外的な発信を兼ねて、ニュースリリースに「SDGsのロゴ」と「リリース内容に関連するSDGsアイコン」を記載し始めた(P24)ことは、貴社のSDGsに対する姿勢を社内外に示す良い機会になったと思います。

また、中長期的な視点では、現在実施しているESG活動をいったん整理して、それぞれの活動に対して達成目標を明確にした(P25-26)ことは、今後、貴社が優先的に取り組むべく重要課題や目指すべくSDGsの方向性を決定するための材料になることでしょう。さらに、約300名の管理職にSDGs研修を実施されたとお聞きしましたが、SDGsの社内浸透は他の企業でもかなり苦勞されているテーマです。SDGsの取り組みは企業の持続的な成長には欠かせませんので、ぜひとも継続的な推進をお願いします。

ところで、最近では地球温暖化の影響でしょうか、世界各国

では、台風や洪水、火災などの天災による被害も数多く発生しており、また、廃プラスチックによる海洋汚染などの人災により生態系のバランスが崩れて、地球環境もますます悪化してきています。国内でも、レジ袋の有料化によるプラスチック規制、CO<sub>2</sub>を削減すべく再生エネルギー活用など、環境問題に取り組むことが求められてきています。今回、貴社では財務・非財務で20個の指標を提示しており(P3-4)、その中でもCO<sub>2</sub>関連の指標が4つ盛り込まれていることは、貴社の環境に対する意識の高さを実感した点でした。次年度では、環境ページ(P44-P56)をさらに充実させて、より分かりやすく伝えていただけることを期待しています。

今年度の報告書は、将来的に発行される統合報告書を意識して作られたものではないのでしょうか。確かに、統合報告書になることで、機関投資家に向けてESG投資を呼び込むツールにはなるかと思えます。その一方、貴社にとって最も大事なステークホルダーである一般消費者への説明責任も果たす必要があります。その意味では、統合報告書になることで、貴社が取り組んできたESG活動が伝わらなくなってしまうことを懸念しています。その点を十分注意しながら、さらにブラッシュアップしていくことを楽しみにしています。

## 第三者意見を受けて

猪又先生におかれましては、この度も貴重なご意見をいただきありがとうございました。

前回の第三者意見におきましては、重大インシデントを受けてグループ経営方針の再確認のご提言を頂戴しましたが、その後総力を挙げてお客さまの信頼回復に向けた取り組みを速やかに実施いたしました。これからも「安全・安心で良質な輸送サービス」の提供に努めていきます。

また昨今、多くの企業は、環境や社会に対する影響を考慮し、社会と共に持続的に成長していく上での不可欠な共通要素としてSDGsに配慮することを重視しています。当社も地域社会におけるさまざまな課題の解決に向けて、ESG視点でのSDGsへの取り組みを推進して

まいります。今回掲載した「ESG各領域における当社グループの事業活動と関連するSDGsについて」は、社内のさまざまな意見について、今後重要課題を特定するステップとして整理したものであり、次年度はこれらを基に、優先的に取り組むべき重要課題を特定し、具体的な取り組みに繋げていきたいと考えています。

最後に、アフターコロナの社会を見据え、今後も多くのステークホルダーの皆様の声に耳を傾けて新たな価値創造に取り組むことにより、当社のサステナブルな成長に取り組んでまいります。

南海電気鉄道株式会社  
執行役員 経営政策室長  
**二栢 義典**